

新施設整備期間中におけるお買い物を支援

移動販売の実施



新鮮な青果(野菜・果物)や
鮮魚(切り身・刺身)などが並んでいます♪

◆株式会社 ミナト屋(城北町)

株式会社 山小商店(馬司町)の青果・鮮魚販売♪

日時=毎週月・木曜 11時30分~13時

※雨天決行。祝日休み。

場所=市役所交流棟“みりお～の”前

※お支払いは現金払いのみとなります。



◆ならコープによる「移動スーパー」も実施中!

日時=毎週火・金曜 10時30分~16時

(13時~14時までは休憩補充のため一時閉店)

※雨天決行。祝日も実施。



問 駅周辺まちづくり推進課(内線677)



市長てくてく城下町240

しめかざり探訪

～正月のこころに出会う旅～

大和郡山市長 工田 清

幕末に現愛媛県伊予市で生まれ、明治の中ごろから昭和の初めにかけて市内豆腐町に住み、今の郡山高校や奈良女子大学で教壇に立つかたわら、大和を代表する文人、蒐集家として「大和の水木か、水木の大和か」と賞賛されたのが水木要太郎(十五堂)氏でした。

その功績に因む第14回水木十五堂賞に、グラフィックデザイナーで「しめかざり」の研究家として知られる森 須磨子さんが選ばれ、2月14日(土)にDMG MORI やまと郡山城ホールで授賞式と記念講演が行われます。

お正月には「しめかざり」を玄関に飾り付けるというのに、当たり前のように続いているが、その由来など考えたことはありませんでした。

そうしたなか、武蔵野美術大学の卒業制作をきっかけに「しめかざり」への興味を抱き、以来、長年にわたって調査・収集・研究を重ねるとともに「しめかざり」に込められた人々の思いを現代につなごう

と、発信をしてこられた森 須磨子さんに第14回水木十五堂賞をお受けいただくことになった次第です。

本賞選考委員の神崎 宣武先生によれば、お正月に「しめかざり」を玄関に飾るのは、ここが歳神様を迎える家だということを表すため。

だから、裏白や橙を飾ることによってめでたい気持ちを表すとともに飢えることがないよう祈ったのだそうです。

「しめかざり」を見る目が変わりました。

森さんによれば、「しめかざり」や「しめなわ」は一般的にその時期が過ぎると焼却され、「モノ」も「記憶」も残りづらい民具です。約20年間、年末年始の日本を歩いて実物を収集してきましたが、その根底にある「人の思い」を現代につなぐことが大切だと感じております…。

地方によってさまざまな「しめかざり」があるそうですが、皆様の家の「しめかざり」は?